

第7回 岡高PTA・同窓会ジョイント納涼懇親会手記

2学期の始業式を翌日に控えた2025年8月31日、岡崎ニューグランドホテルの地にて、「第7回 岡高PTA・同窓会ジョイント納涼懇親会」が開催されました。

当日は、立秋とは名ばかりで、名古屋では観測史上2回目の40度を超えるまさに酷暑日であったものの、窓越しの乙川の流れにいささかの涼を感じつつ、岡高ファンファーレを合図に懇親会はスタートしました。

懇親会は、小職のあいさつ、増田同窓会長のごあいさつ、山脇校長先生のごあいさつと進み、名倉PTA副会長による乾杯へと続きました。歓談の折にご披露された嶋田先輩によるお手製の映像は、岡高にまつわる様々なトピックスがふんだんに散りばめられており、磯谷先生によるご説明との相乗効果により、自身の遠い？過去を懐かしむ気持ちと、今の岡高生の活躍に心を躍らせる瞬間となりました。特に今回は、来年度に岡高創立130周年を迎えることもあり、120周年の折にご活躍された竹本・坪井両先輩より当時のお話をお伺いしながら、山本先輩より130周年記念事業に関するご説明も頂戴し、同窓会の諸先輩方から後輩達に対する脈々と「つながる」深い愛情に心震える瞬間にもなりました。

同じ志を有する皆さまとの夕べは、美味なお酒やお料理に彩られ、時の移ろいを忘れてしまうほどであり、改めてこの同窓会与学校とPTAの三者を「つなぐ」岡高教育基金のレゾンドートルを感じずにはいられませんでした。

最後は本多同窓会副会長の万歳三唱で幕を閉じ、来年の再会をすでに待ち遠しく感じながら会場を後にしました。

岡高の魅力は、長い歴史や伝統、あるいは華やかな進学実績に求められがちではありますが、その本質は人と人との「つながり」にあり、恩を受けた者は恩を受けた先輩方にその恩をお返しするのではなく、その代わりに、現役高校生である後輩達へその恩を送り「つなぐ」ことにあると確信してやまない懇親会でした。

そう…、それがまさしく、岡高創立130周年記念事業のタイトルにある…

「－未来へつなぐ思いをかたちに－」

文責 PTA 会長 高橋和宏

